

☆7月期パンフレットに掲載されていない講座です。

満足して大往生するコツ

講師 長尾クリニック院長 長尾 和宏

多くの人が、人生の最終段階になったとき、過剰な延命治療は受けず、しかし緩和ケアはしっかり受けて、穏やかな最期を迎えたいと望んでいる。しかし現実には、多くの人が平穩からほど遠い死を迎えているのが現状ではないか。医学はこれまで、人を長く生かすことを目標に発展してきた。扱う対象を細分化し、延命方法を模索してきた。高度医療の場である病院は、どうしても延命治療に力点がおかれ、緩和医療を後回しにしがちである。自力で歩けず車椅子で来院した末期がんの患者に抗がん剤を打ち、衰弱してくると入院させ、高カロリー輸液を行う。腹水や胸水が溜まるとそれを抜き、抜いた分をまた輸液する。水膨れになって苦しむので、最期には麻酔で眠らせて、病院のベッドで臨終となる。これが日本における多くの終末期医療の現状であった。住み慣れた地域の中で、そこが病院であっても、自宅であっても、特別養護老人ホームや老人保健施設であっても、その人らしく生活することができる社会であって欲しい。そのためには、終末期医療についての価値観を、地域の実情に応じて社会の中ですり合わせていく作業が必要である。 (講師・記)



<参考書>『100%満足して大往生する100のコツ』(朝日新聞出版・7月刊行予定)を、開講日7階の事務所カウンターでご希望の方に販売します。

<講師紹介> 長尾和宏(ながお・かずひろ) 1958年生まれ。84年東京医科大学卒業、大阪大学内科第2局に入室。95年尼崎市内で長尾クリニック開業。複数医師による年中無休の外來診療と24時間体制での在宅医療に従事。医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長。医学博士。日本尊厳死協会副理事長・関西支部長、日本ホスピス在宅ケア研究会理事、関西学院大学非常勤講師、関西国際大学客員教授。朝日新聞電子版・アピタルも連載中。著書に「町医者だから言いたい!1・2・3」「胃ろうという選択、しない選択」「新・私が決める尊厳死—不治かつ末期の具体的提案」「平穩死」10の条件」他多数。

日 時 2014年9月6日1回 土曜日 15:30-17:00

受講料 会員 3,024円(入会金は5,400円。70歳以上は入会無料、証明書が必要です)

一般 3,672円

※入会金、受講料、教材費等は消費税8%を含む金額です。

※ご入会の優待制度をご利用の方は、お申し出ください。
※日程が変更されることがありますので、ご了承ください。

※講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合などには、講座を中止することがあります。
※個人情報は、受講連絡、当社からのお知らせ、企画の内部資料として使わせていただきます。



朝日カルチャーセンター
朝日JTB・交流文化塾

新
宿

〒163-0204 東京都新宿区西新宿2-6-1
新宿住友ビル内 私書箱22号
tel 03-3344-1946
http://www.asahiculture.com/shinjuku